

▶ カシオの歩み

カシオの価値創造の歴史

カシオ計算機株式会社は、忠雄、俊雄、和雄、幸雄という四人の樫尾兄弟が、それぞれの得意な力を活かして世界初の小型純電気式計算機の開発に成功し、1957年に設立しました。開発を担当していた次男の俊雄の持論は「発明は必要の母」。世の中が求めるものを開発するのではなく、自分たちが発明した製品で世の中に新しい必要性を生み出すという考えでした。それはデジタル技術を発展させ、電卓、時計、電子楽器などの発明品を世の中に送り出す開発哲学として受け継がれ、今なお新しい価値を生み出し続けています。



デジタル腕時計の普及

1974 月替わりに日付修正不要なオートカレンダー搭載
電子式デジタル時計
“カシオトロン”



オフィスや店舗の事務効率化

1961 世界初の事務作表計算機
“TUC”



1976 電子式金銭登録機
“Σ-50ER”



計算業務の飛躍的効率化

1957 静粛かつ高速な計算を可能とした
世界初の小型純電気式計算機
“14-A”



パーソナル電卓市場の創造

1972 電卓を家庭用に用途を拡大
世界初のパーソナル電卓
“カシオミニ”





使用段階での環境負荷低減

2010 世界初水銀フリー高輝度
プロジェクター
“XJ-A145”

プロジェクター
事業



携帯電話の使用シーンや用途拡大

1999 耐水・耐衝撃性能を備えた携帯電話
“C303CA”

2010
携帯電話事業譲渡



電子辞書市場の創造

1996 本格辞書コンテンツを搭載した電子辞書
“XD-500”

2016
電子辞書
世界累計出荷
3000万台達成

電子辞書
事業



コンパクトデジカメ市場の創造

1995 フィルムレスで撮ったその場での画像確認を実現した
デジタルカメラ“QV-10”

2018
コンシューマ向け
デジタルカメラ
事業撤退



電子デバイスの供給による産業振興

1990 液晶表示パネルの外販開始

2010
デバイス事業譲渡

電子鍵盤楽器の普及拡大

1980 本格的な音色でいろいろな楽器の演奏を楽しめる電子楽器
“カシオトーン201”

2019
電子鍵盤楽器
世界累計出荷
9000万台達成

楽器事業



従来の腕時計の概念を破壊し用途の飛躍的拡大

1983 落としても壊れにくい革新的性能を実現
耐衝撃腕時計
“G-SHOCK”

2017
G-SHOCK
世界累計出荷
1億個達成

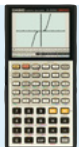
時計事業

1985 液晶シャッター式
ページプリンタ
“LCS-2400”



1989 ユーザープログラム不要の事務用
情報処理装置
“ADPS R1”

システム
事業



授業での活用による効果的な数学学習を実現

1986 関数式の理解を視覚的に助ける世界初のグラフ関数電卓
“fx-7000G”

2019
電卓世界累計出荷
16億台達成

教育関数
事業

リーマンショック
デジカメ市場の縮小

事業の選択と集中

